

市内幼稚園児らがパレード

城陽地域
安全大会

関係団体集まり「宣言」も

地域ぐるみで「安全・安心のまちづくり」をめざす「城陽地域安全大会」が12日、文化パルク城陽・ふれあいホールで開かれ、市内幼稚園児らがパレードで地域防犯を呼びかけた。

城陽防犯協会（富田泰溥会長）、城陽防犯推進委員協議会（松並一行会長）、城陽C Pサンレディース（室崎美代子会長）、城陽警察署協議会（青山浩然会長）の各団体及び城陽署が主催して開かれた。

午後2時から開かれた大会は、この日着任したばかりの寺田良輝署長のあいさつから始まった。地域安全功勞者表彰に続いて、「緑と太陽、やすらぎのまち・城陽が実感できる地域社会の実現のため、さらに一層努力する」との大会宣言が発表された。

このあと、市内にある「里の西保育園」（石田麗子園長）の5歳児26人による鼓笛隊が登場して「ミッキーマウスのテーマ」などを演奏、さらに「芽生え幼稚園」（西岡京子園長）の4、5歳児46

人が手話歌「犬のおまわりさん」や童謡メロディを演奏を交えて歌った。城陽署生活安全課署員とサンレディースのメンバーによる寸劇「うさぎさん危機一髪」は、少ない準備期間にしてはなかなかの出来映えに拍手。

しめくくりは会場から近鉄寺田駅前タミナルまでのパレード。この日が屋外で初めてという「里の西保育園」鼓笛隊や「芽生え幼稚園児」を先頭に、大会参加者が「安全・安心のまちづくり」を道行く人に呼びかけた。

【藤本博】



園児らを先頭に参加者の行進